

星の夢百聞

第196号

発行日 2022年6月1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江

リニューアル
OPEN!

デイサービスセンター てんやわんや 新道



皆さんに第二弾も乞うご期待と伝えていきましたが、ついに第二弾完成となりました。4月の後半から外観のリニューアルが始まりました。施設上の看板が「てんやわんや新道」へと変わり、太陽の光をあびて鮮やかな青色に輝いています。玄関の扉は少しでも明るくなるようガラスの扉となり、窓枠はダークブラウンでモダンに変化をしています。デコボコだった床もコンクリートを入れ平らにし、マットをひいて歩きやすくなりました。靴箱も入れ替えています。

庭は東屋をずらし、パークゴルフ場が誕生、畑を縮小してスロープの道をつけ、横のちょっとしたスペースに行けるようになりました。その横のスペースにはピザ窯、BBQを設置しています。足場にはチップを敷き、利用者さんと花壇も作る予定でいます。「なにができるんだらうね」と大工さんの動きをじーっと窓越しに見ている方も沢山いました。

これから暖かな季節がやってきますが残念ながらまだコロナの影響で外出行事が行われていません。利用者さんに少しでも楽しんで頂きたい、喜んで頂きたいの思いで出来上りを職員も楽しみにしていました。畑はスロープのため縮小しましたが、利用者さんと花を植え、イモ、枝豆等も植える予定でいます。毎年「秋の収穫祭」と題して畑でとれた野菜で年一回ピザを作り、おやつとして提供していましたが今年にはピザ窯があるので一回とは言わず何度も作ろうかと考えています。

暖かな時期は毎日BBQコンロで焼き鳥、ソーセージ、とうもろこしなどを焼き、おやつで提供したり、または居酒屋風に飲み物も提供するなど職員で色々な案を出し合っています。

パンフレットを新しく作成中なので出来上がり次第ケアマネ事業所や近隣の家などに配布していきます、新しくなった「てんやわんや新道」をアピールしていきたいと思っています。リニューアルと言う大きなチャンスを頂いたので、職員一丸となり事業所目標の「不転の覚悟」をもって邁進してまいります。（浅田）



靴箱も新しくなりました!!



パークゴルフ場オープン!!

ピザ窯でとろーり本格自家製ピザ!!



小道にはチップを敷いています♪



広々としたBBQコンロも設置!

報告!

ダイバー・ジョナルセラピー研修

うらら伏古
足湯へGO!

草津よいと〜こ〜♪一度は〜おいで♪



今年の4月から川岸介護員がDTワーカーとして加わり、うららのDTワーカーは、3人体制になりました。川岸介護員は「入居者さんにうららで楽しく過ごして頂きたい。」と強い気持ちを持ち、5月12日に芹沢先生をお招きして2年振りに開催したソナセセッションに「入居者さんにも参加して欲しい」と準備段階から入居者さんと一緒に取り組んでいました。今はコロナ禍で、入居者さんは現在も外出が制限され、自由に出かけられない状況が続いています。

当日は「足湯へGO」というテーマで、山の中の温泉で桜見物をしながら足湯に浸かり旅行に行った気分を疑似体験してもらうことにしました。足湯のお湯には「登別温泉」「草津温泉」「黒川温泉」等7種類の有名温泉の素を入れ、温泉の匂いを感じて頂き、また、全国の有名な桜の名所をスクリーンに映し鑑賞しながら足湯を楽しんでもらおうと企画しました。

入居者さんは芹沢先生が歌を歌うと一緒に合わせて歌い、スクリーンに映し出された映像を見て「綺麗だね」と、釘いるように見入る人や、「温かい!」「気持ちいい!」「まだ歌が歌えなな」と歌っていた入居者さんは驚いた表情で話されていました。その日の夕食時に、入居者さんが足湯のことを話題にされ、「足がぽかぽかしている。硫黄は温まるね。」と笑顔で職員に声を掛けてくださいました。また、入居者さん同士で昔旅行した時の思い出話で盛り上がり、ソナセセッションは、その時間だけではなく、準備から始まり、終わってからの余韻も大切なことを学びました。ソナセセッションが始まるまでは、入居者さんの反応に不安がありました。が、「こんな楽しい事もあるんだね」と言ってくれた言葉に、私達の緊張もほぐれる瞬間でした。

セッション後の振り返りで、入居者さん一人一人の感性で、足湯の楽しみ方があり、職員の楽しませたいという意気込みが感じられたと評価をいただきました。一緒に喜び合うことの大切さを改めて学ばせて頂き、また、反省点も発見できた企画でしたので、今後の参考にしたいと思えました。(伊藤 典子)

えくぼ・サテライト 東雁来
5月こいのぼり



やねよーりーたーかーい
こいのぼりー♪



4月から5月初めまで、コロナ発生により、大きなイベントやレクができない厳しい状況が続いております。少しでも利用者様に目で楽しんでいただけるように、職員の方に持ってきていただいた、こいのぼりを実際に飾りました。懐かしいとの声も聞かれており、利用者様も喜ばれておられました。

コロナ終息後より、いろいろな行事やレクに取り組めるよう計画していきたいと思えます。(大徳 和也)

行事

野に咲く花のように

介護付有料老人ホーム せんり

今年の桜シーズンは強風にあおられ「寒い」とのこと、風に吹かれて、爽やかに揺れている桜を見に行くことが出来ませんでした。

せめて生のお花だけでも、と考えていた所に家族様から色とりどりのチューリップを頂きました。このお花、入居者M様が自宅の庭でたくさんのお花を育てていらつしたもので、実は去年も毎月のように季節ごとのお花を頂いておりました。ご本人はもちろん、他の入居者様もいつも楽しませて頂いております。

さつそく、今どきのチューリップは「あかしろきいろ」だけでなくピンクや紫、オレンジもあるのですね。などとお話をしていたら、Y様が慣れた手つきであつという間に花瓶に活けてくださいました。グラデーションのように活けられたチューリップはなんだか喜んでいられるにも見えませんでした。

また後日、以前異動になった職員がたくさんの桜の枝を差し入れてくれました。チューリップと桜が揃ったせんりは、とっても華やかでしたよ☆

ちなみにタイトルの「野に咲く花のように」は山下清を主人公としたドラマ、裸の大将放浪記の主題歌です。

♪時には暗い人生も トンネルぬければ 夏の花々♪

今年の夏こそ、明るく楽しく過ごせませうように。(本間圭介)



キレイなお花達に心もウキウキ!

行事

春のゲーム大会!!

デイサービスセンター 生きがいサロン 銭函

5月の行事で「春のゲーム大会」を行ないました。まずは輪投げです! 蝶、カエル、蜂の絵を付け、挑戦される方はランダムに流れる童謡の「ちようちよう」「かえるの合唱」「ぶんぶんぶん」を聴き、その歌に合った絵の的を目掛けて輪を投げます。よくある輪投げに音楽を聴き分けたりそれに合った的を探すと手間が加わることにより、体だけでなく頭の運動にもなっています。

次に輪投げに使ったペットボトルの的を使いボウリングを行ないました。こちらはシンプルにボールを転がしての飛ばし、日々のストレスを発散していただきました(笑)ど派手なピンアクションに私も見ているだけでスカッとしました!

普段このように大きく体を動かす活動を頻繁には行なっておらず、普段と違う活動に盛り上がっていたのか...と思う部分もありましたが、いざ開催してみるといつもは落ち着いた雰囲気の方がとてもアグレッシブに参加されていました。終了後もまだやりたいと延長戦を希望される方もいらつしました。

依然としてなかなか外へ買い物やお食事をしに行けない状況が続いていますが、今年度は施設内や敷地内の活動をさらに充実させようと目標を立てました。今後も皆さんにデイサービスでの時間を楽しいと思っただけのような活動、お持ち帰りできる思い出に残るもの制作など色々計画中です! 楽しみにしてくださいね! ♡

(横川将太)



楽しいゲームが頭と体の運動に!

2022年 事業所目標

マインド・マップと 思い

02.

各事業所
自由な発想で!

うらら伏古



**変わることをためらうな!!
あなたが変わればすべてが変わる!!**

今期は職員一人一人の顔（個性）が見える取り組みをしながら、職員全員で手を取り、うらら伏古を盛り上げていきたいという思いでこの目標にしました。

いままで踏みとどまっていた場所から一歩ずつしっかりと確実に前進しながら入居者様・ご家族様の思いを受け止めて誰もが安心・安全、そして笑顔でいられる「うらら伏古」でありたいと思います。（神山 茂生）

エルパサ



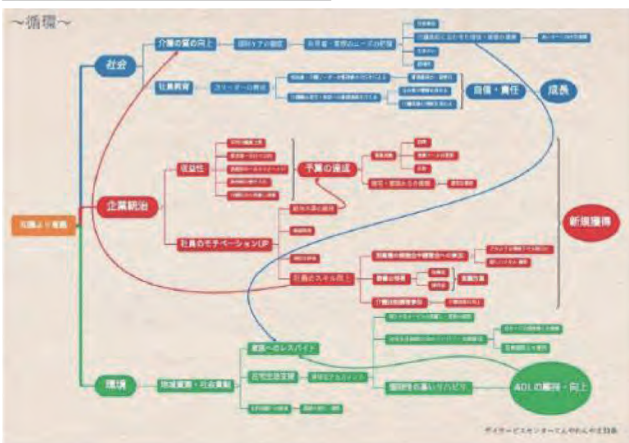
～ Go getter ～

事業所目標を、「意識を高く持ち、自発的に仕事をする人」を意味する“Go getter”としました。

デイサービスは在宅生活継続の拠点＝地域資源でもなければならぬという思いから、空気中の粒子のように浮遊している「様々な資源・課題を意識して繋ぎ合わせてみよう」「利用者様・地域のニーズ・ニーズをアンテナを張り巡らせて見てみよう」というイメージのMMにしました。

介護保険事業所としての役割・円熟を図ると同時に、次世代への視野を広げた取り組みを目標としていきます。（早川 敦司）

てんやわんや北31条



～循環～

今期は「社会」「企業統治」「環境」の言葉から、今この事業所に必要なキーワードを設定し、それが相互に干渉することで、より良い事業所を作り上げることをイメージしてマインドマップを作成しました。

また、もう一つの思いがあります。それは事業所を支えてくれている職員一人一人の日常的に行っている業務が、どのようにしてご利用者様や地域に対して貢献をしているのかをしっかりと理解してほしいというものです。

自分たちが行っていることが、掛け替えの無いものだだと自覚をすることが出来たなら、私の自慢の職員達はさらに素晴らしいサービスを提供してくれると思っています。（日渡誠一郎）

てんやわんや本町



～煌築～ 「構築」という言葉をベースに作られた造語です。

「構築」の本来の意味の他に職員や利用者様と煌く未来を築き上げていくという意味を含めています。マインドマップではたくさんの施策を積み上げて、徹底・構築を繰り返した先に「収益性とモチベーションアップの組織づくり」「介護の質向上と社員教育」「地域資源及び社会貢献」という三本の大きな柱がそびえたつというイメージを表現しています。

今年度は本町の既存の介護の技術やシステムを見直しながら再構築し、本町の介護サービスの強みを職員間で定着させていく仕組みづくりを構築していきます。毎日のケアの目標地点を高く持ち、職員間の報告・連絡・相談を徹底しながら信頼関係の構築をしていくこと。そしてその先に利用者様のたくさんの笑顔が待つデイサービス作りを目指します。（山崎 孝宏）

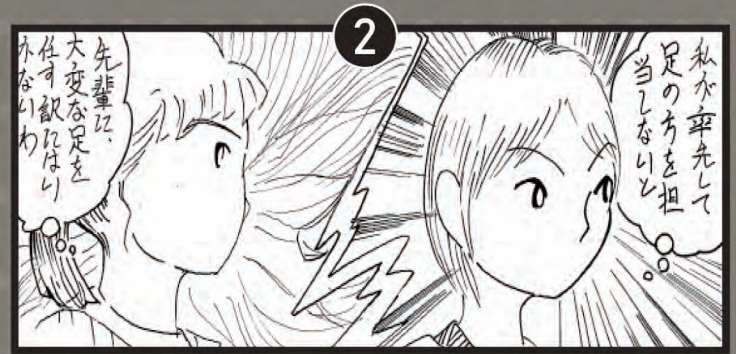
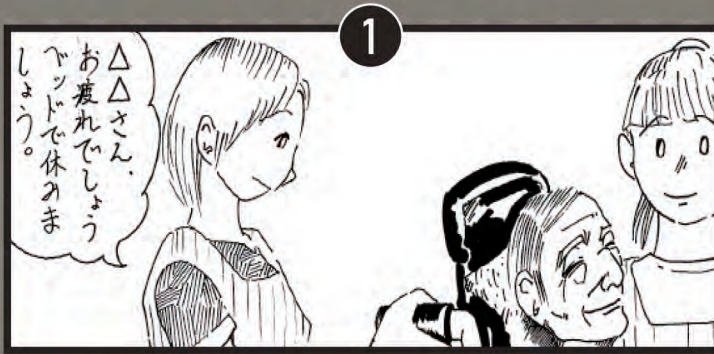


なべちゃんの

4コマ

介護日記

No.14



第84弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



大相撲夏場所が終わった。千秋楽は横綱の照ノ富士と前頭の隆の勝が3敗同士で並んだが、隆の勝が前頭の佐田の海に敗れ、照ノ富士が大関の御嶽海に勝ったため、照ノ富士の優勝となった。やはり横綱は強かった。幕の内での優勝はこれで7回目となる。さすがどん底から大関復帰・横綱昇進を果たした史上初の力士だ、気構えが違う。

今場所は7日目にして全勝が消え隆の勝、佐田の海ら平幕力士が優勝争いから大荒れの展開となった。振り返れば大関の貴景勝が8勝7敗でかろうじて勝ち越したものの、同じく大関の御嶽海、正代がいずれも負け越したのが混戦模様の原因だろう。それでも今場所印象に残ったのは10日目15枚目だ。11日目から連敗してしまい優勝争いには臨めなかったものの勝ち越して場所を終えた。来場所の番付や活躍が楽しみだ。元公務員という異色の経歴をもつイケメン力士で現在北海道唯一の幕内力士だ。

同じく北海道芽室町出身の矢後は現在十両にいて大きく負け越してしまった。体格には恵まれているから今後の奮起に期待したい。いつかヤゴからトンボへと大変身をとげてくれ。

かつて北海道は相撲どころであった。横綱で言えば古くは千代の山に始まり、吉葉山、大鵬、北の富士、北の湖、千代の富士、北勝海、大乃国ら多くの逸材を輩出しているのだ。ところで私は相撲同様プロレスも好きだが、角界からプロレスに転向した力士はたくさんいる。そしてプロレスはそんな彼らのおかげで大きくなったと言っても良い。なかでも力道山は別格だろう。戦後の復興期、力道山が大きな外国人レスラーを空手チョップで次々となぎ倒す姿は多くの日本人に勇気と希望を与えた。そんな力道山の影響でプロレスラーへと転向する力士が増えていった。東富士、輪島、双羽黒(北尾)、曙が続いている。彼らは皆、元横綱である。そして天龍源一郎。前頭筆頭から全日本プロレスへ入団しその後様々な団体で活躍した。男気に満ちた試合スタイルで人気を博した。他にもたくさんいるが、芳の里、豊登、キラ・カーン、上田馬之助、ラッシュャー木村らも元力士だ。

ちなみにラッシュャー木村は北海道中川町出身だ。国際プロレスのエアースで金網デスマッチの鬼とも呼ばれた。力道山さながらの黒タイツ姿でお世辞にもカッコいいとは言えなかったが優しく真面目なお人柄であった。

相撲中継を観る楽しみはもちろんその取り組みや勝敗であるのだが、仕切り立合いにかけて土俵そばの観客の中ししばしば大変な美人さんが映り込む。高級クラブのママさん風であったり、和服の芸妓さん風であったり、清楚なお嬢さん風であったり。あれはタニマチさん(スポンサー)なのだろうか。ある時は金ピカのスーツを着た高須クリニックス院長やピンクの衣装の林家ペー&パー子、オロナミンCの大村崑もいた。そっちが気になって相撲に集中できない。NHKさん、映すのは美人だけにしておいて……とほほ。

(蓮川亨士)

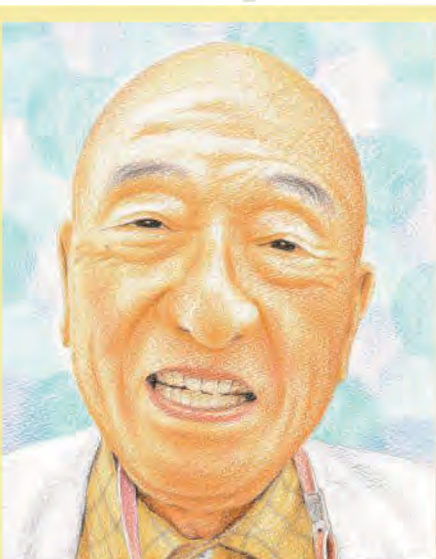


馬が翁塞万事人間

Aさんと奥様は、季節にあわせてマスクや眼鏡を装飾したり、時には二人で仮装して通所されている、とても仲の良いご夫婦です。今回、星の夢百聞で、Aさんをご紹介したいとお話しをすると、自己紹介文を書いて頂きました。その内容と表現力があまりにも見事でしたので、原文のままご紹介させて頂きます…。

札幌生まれの札幌育ち、85歳。自営業で雑貨屋を営んでいた両親は教育熱心で、私を東京の私立大学へ国内留学させた。学費の他に、今なら十万円に相当するだろう八千円を毎月仕送りしてくれたのは大変だったと思う。卒業して銀座松坂屋百貨店で働いたが、三年後に札幌へ戻って家業を継ぐ。縁あって青森育ちのリンゴの様な娘さんと見合い結婚して、四人の子供を育てあげて世に送り出す。子供の成長を写していたカメラで野鳥を撮りはじめると、まれにプロ並みの写真になる事があって、時々撮れるドキドキの世界にはまってしまふ。

下手の横好きと言われる私は、憧れのクラシックギターを文化教室で習う機会を最近得た。今は「月の砂漠」のレッスンで、二重丸をもらえるように頑張っている。当然家でも練習



似顔絵作：松田 郁美

するが、音程は家内の寛容に甘えている。リンゴだった家内は、今ではアップルパイに、私は干し芋に変身したけれど、お互い食えないわけではなくて安堵している。二人は共に週一回のデイトレセンターを利用して、動きが鈍くなった身体に油をさしてもらったり、利用者との交流を楽しんでいる。両親が私に託した希望には応えられなかった。申し訳なく思う。でもあまり叱られた記憶が無いので、あの世で「始末のおえない息子よ」と笑ってくれていると期待している。

ふりかえって、一喜一憂の人生を過ごして来たけれど、所詮、人間万事塞翁が馬と達観すれば、これからも人のお世話になりながら、あの世へ旅立つまで養生して行きたいものである。(A)

この自己紹介文に何を補足しても蛇足となりそうですので、最後に一番の思い出という写真をご紹介します。

中島公園でバードウォッチングをしていた際に、偶然に散歩していた当時の皇太子殿下(現上皇陛下)とご一家を撮らせて頂いて新聞掲載された、まさに人生最高のドキドキ写真だそうです。(柳川 純子)



中島公園でバードウォッチングを楽しんだ皇太子殿下とご一家(写真：柳川純子)

朝礼でのステキなお話 ~言葉を大切にする日本人~



日本人の素晴らしさについて、最近日本語の文字と読みから改めて再発見したことをお話しします。

最近、YouTube動画で「ばかりの壁」の著作で有名な養老孟司さんが、日本以外どこにもないものとして、漢字の読み【音】読みと【訓】読みがある。例えば、島という字は、音読みでは「とう」と読み、訓読みで「しま」又は「じま」とも読み、地名などもその地域により音と訓掛け合わせてできている読み方なんです。それを自然と使い分けられている日本人はすごい!?

ちなみに、おじさん日本各地を電車・バス旅をしていると、駅名を当てるのに相当苦労することがあります。

みなさん、「二島」をなんと読みますか、おじさん最初は、「にしま」、「にとう」かなと思って駅についたら、正解は「ふたじま」でした。

また、日本語には、「ひらがな」と「カタカナ」があるでしょう。日本語には、音読み・訓読み・ひらがな・カタカナ。これでは、外国人は日本語を学ぶのがとても大変だと思うのですが、それを使い分ける日本人は素晴らしいとともに、言葉を大切にしている民族なのだと思います。

それは、敬語にもあらわれていて、敬語でも少し上の方の場合や最上級の敬語などもあり、それが場の雰囲気や壊さないこともあります。特に、目上の方に「ちゃん」づけなども戒めるべき最たるものかもしれません。かくいうおじさんも、言葉の不確かさにより相手に不快な思いをさせているかもと改めて反省させられます。(松田 茂男)

おいらーく

5月行事内容と6月行事予定

令和4年6月行事予定

令和4年5月行事内容とイベント風景

令和4年 6月行事予定

令和4年 5月行事内容とイベント風景

せんり
○お花見散歩
○誕生会

○母の日
○誕生会


うらら伏古
○22日旅行に行こう!!

○12日足湯へGo!!


えくぼ東雁来&ココ東雁来式番館
○とくし丸(移動販売)
○金さん銀さん(訪問理髪店)

○こいのぼり
○母の日
※予定していた花見は感染予防対策の為、できませんでした。


えくぼ元町&ココ元町
○百合が原公園散策

○12日お花見ツアー


えくぼ&ココ元町式番館
○父の日

○8日 母の日
○10日 家庭菜園part1～雑草取り


銭函お散歩カフェ
○5日・19日 趣味の会
○将棋教室
○出張カフェ

○1日・15日・29日 趣味の会
○将棋教室(毎週)開催


ココ輝楽
○誕生会
○訪問理容
○家庭菜園

○外出レク
○ガーデニング
○家庭菜園
○誕生会


経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。